

平成 22 年度 大和市障害者自立支援協議会 第 4 回定例会 議事録

場 所： 大和市障害者自立支援センター

日 時： 平成 23 年 3 月 7 日（月） 17：00 ～18:50

出席者： 下記参照

出 席 者：定例会委員（敬称略、定例会組織図順）

成澤一之（ワークステーション・菜の花）、佐野文彦（あゆみの家）、
村元良悦（大和市社会福祉協議会）、山岸安志（大和障害者地域生活支援ネットワーク）、
鳥原信一（大和市身体障害者福祉協会）、春日恵美子（大和市手をつなぐ育成会）、
阿南由美（大和市教育委員会総務部指導室）、
木村順子（神奈川県立瀬谷養護学校 地域支援担当）、佐藤倫孝（自立支援センター）、
風間康子（サポートセンター花音）、目黒裕（松風園）、関水貴浩（福田の里）、
菊間博子（大和保健福祉事務所保健予防課）、
高橋正敏（大和市身体障害者福祉協会（肢体不自由））※

事務局

松川亜希子（自立支援センター）、近藤誠、石射千夏、五十嵐衛（サポートセンター花音）、
山田兼右、寺崎由布季（松風園）、田邊努、星野宗吾（福田の里）、
柏木裕幸、佐伯隆宏、民實健二、天野泰雄（大和市健康福祉部障がい福祉課）

欠 席 者： 宇山秀一（県央療育センター）、田中貞代（（特非）大和さくら会（精神障がい者家族会））、
菊地原広憲、笹岡整、（大和市健康福祉部障がい福祉課）、和賀礼奈（自立支援センター）
大沢茂子（大和市身体障害者福祉協会（内部））※、
田辺暎夫（大和市身体障害者福祉協会（聴覚））※ 注）※オブザーバー出席者

- 内 容：
1. 相談支援事業 活動報告
 - ・実績報告
 - ・個別ケース報告
 2. 専門部会活動報告（児童・就労・精神・身障）
 - ・各専門部会からの活動報告
 3. フォーラムについて
 - ・進捗状況の報告
 4. その他
 - ・事務連絡等

- 資 料：
1. 相談支援事業実績報告
 2. 個別ケース活動報告
 3. 専門部会活動報告（児童・就労・精神・身障）
 4. フォーラム実行委員会

内 容：

〔 議 題 〕

1、相談支援事業 活動報告

(1) 実績報告

- ・資料を基に事務局から説明。
- ・12月から相談支援記録の項目を変更。年代別や男女別の統計がみられる。相談内容、具体的な内容が分かるようにデータ化。2ヶ月間のデータであるので、またデータ量としては不十分。相談の傾向等が多面的にみられる。今後に向けて、統計内容については意見を頂きたい（事務局）。

【質疑応答】

- ・年代別や障害別等に分かれており、とても分かりやすい。表1について、年代別の児童で20代の方が所属している背景について教えて欲しい（委員）。
- 入力ミスと思われる（事務局）。
- ・難病の方から等の相談は上がっていないのか（委員）。
- 難病の方は精神保健福祉手帳や身体障害者手帳を取得している方が多いので、そのカテゴリーに入っている。「難病の方」のみを抽出するのは、このデータベース上では難しい（事務局）。
- ・膠原病の方等が日々の家事援助を依頼したいといった相談に対し、障がい福祉課と保健所が縦割りの傾向もあって、事業所としても相談の振り分けに迷う事も多い。相談する当事者としても迷うのではないか。横のつながりで連携し、相談先を明確にすると相談しやすいのではないか。相談支援事業所についても相談の内容等によって振り分けをしてはどうか（委員）。
- 検討していく。
- ・表9と表11、空白が多いが何故か（委員）。
- 入力漏れではないか（事務局）。
- ・難病関係の相談等、分かるような集計方法を検討したい（委員）。

(2) 相談事例報告（事例を通した課題提起）

- ・資料を基に説明。質疑応答等、詳細については個人情報保護の観点から省略

2、各専門部会の活動報告

(1) 児童部会

- ・資料を基に事務局から報告。

(2) 就労部会

- ・資料を基に事務局から報告。

(3) 精神部会

- ・資料を基に事務局から報告。

(4) 身障部会

- ・資料を基に事務局から報告。

【質疑応答】

- ・あゆみの家の職員の退職に伴い、今年度途中より部会出席の変更があった（委員）。
- ・児童部会でサポート広場を開催した。広く周知していく意味ではチラシが有効だが、ネットよりも関係機関の協力を得ながらチラシを作成し、それ見ることによって繋がっていくのでは。また同じ児童部会で平成20

年度に相談窓口マップを作成して配布したが、有効であったと聞いている。また就労部会ではパンフレットの作成、身障部会は地区懇談会に取り組んでいるが、「周知」そのものにも意味があるのではないか。チラシ等の作成には経費がかかるが、予算化されているのか。児童部会のリーフレット作成においては教育委員会で捻出した（委員）。

→明確に協議会事務局費用をとっていないが、大和市自立支援センターの委託費の中で捻出していた。今後は予算立てしたい。フォーラムの予算についても同様に委託費の中で計上。

- ・今年度から松風園で、医療的ケアのある方の日中一時支援に取り組んでいる。肢体不自由児に関しては夏休み期間中の支援に取り組んでいきたい（委員）。
- ・平成 23 年に保健福祉事務所では医療中断者や未治療の方からの相談についての調査を実施する。今後、その様なケースについて相談支援事業所にも相談があるのは。その際は、協力をして欲しい（委員）。

3、フォーラムについて

- ・実行委員としては、大和保健福祉事務所、教育委員会、ホープ大和、やまねっと、大和市肢体不自由児者父母の会から承諾を頂いた。その他、相談支援事業所が参加。今後、検討を進めていきたい。検討内容については書面で報告する。定例会や専門部会でも報告内容について取りまとめを行う（委員）。

【質疑応答】

- ・チラシの予算はどうなっているか（委員）。

→予算立てする。講師謝礼や必要な予算についても確認しながら、予算立てしていく（委員）。

4、その他

【事務連絡等】

- ・定例会の任期については、どうなっているか（委員）。

→次年度は、委員を改選。依頼状等の書類が必要であれば連絡して欲しい。委員については若干の変更も検討。事務局で整理をしていく（委員）。

- ・次年度の定例会について。第 1 回目は、6 月を予定。日程は後日報告する（委員）。

以上